

あかし女性応援ねっととの意見交換会の概要

1 開催日時

2021年11月16日（火） 15:00～16:20

2 開催場所

アスピア7階 701会議室

3 出席者

あかし女性応援ねっと運営委員 9名（うち2名はZoomで参加）

4 議事要旨

項目	ご意見	市の回答
環境	<ul style="list-style-type: none"> • 明石は本当に住みやすいまちだと思うが、20年、30年先を考えると市民が家を建てる時などに、再生可能エネルギーの活用考えなければならぬ。 • 明石はクリーンセンターの性能が良いため、市民のごみに対する分別の意識が低いように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度、家庭から排出される二酸化炭素を削減することを目的に、家庭用燃料電池及び蓄電池の補助を実施したが、想定した件数の倍ぐらいの申請があった。これからもこうした取組は進んでいくと思われる。 • クリーンセンターの耐用年数に合わせて、次期焼却炉の整備計画を検討しているところである。 • 今後は、なんでも燃やせる時代ではないので、前期戦略計画の中で、ごみの排出量の削減を掲げ、取組を進めていこうとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> • 一部の川で、ごみが多くて気になるところがある。清掃ボランティアなどを募って、市民と協力しながら、まちが綺麗になると良いと思う。 • 明石はため池が多く、野鳥が訪れることは良いが、草が繁り安全とは言えない場所もある。田んぼが減る中、ため池を整備することを考えてはどうか。 • ペットボトルなどのポイ捨てが多い。ごみの捨て方の周知と資源の有効活用を同時に進められるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> • 行政だけですべて解決することは難しいので、市民やボランティアの方が活動しやすいような仕組みづくりを進めることで、地域での課題を解決できるようにしていきたい。
社会	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者の活躍支援に、介護職への就労支援とあるが、現実的には難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 施策への意見は、担当する所管部署に意見を伝え、今後検討していきたい。

項目	ご意見	市の回答
	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の啓発とあるが、表現が抽象的でわかりにくい。 認知症サポーターは、オレンジサポーターだけでない。誤解のないように記載してほしい。また、認知症サポーター制度についてもっと周知していくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期戦略計画に全てを記載できないが、わかりやすくしていきたい。 認知症サポーターについては、制度が変更しているため、誤解がないように記載したい。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの第6波への準備が必要。自分自身の身、他の人の安全の両方を考えた行動が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 先日、コロナ官民連携会議を開催し、第6波に備えて医療体制を整えていくことを確認したところであり、しっかり対応していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響もあり、教育費が負担となっているので、小学校の給食費も無料化してほしい。 質の高い教育が実施できるように全学年で少人数学級を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の給食費の無料化には7億円程度かかる。政策効果を広く受けていただくためにも、まずは中学校給食から始めた。小学校給食費の無料化は、多くの財源が必要なため、慎重に検討していきたい。 本市は、国や県に先駆けて少人数学級に取り組んできた。少人数学級の必要性は十分に認識しているため、学校の状況を確認しながら、教育委員会ともよく相談しながら進めていきたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが健康・長寿を全うできるわけではない。5大疾患に含まれる精神疾患に対する取組も必要だと思う。病気の方や精神疾患の方が同じように共生できる社会になることが望まれる。 心の病や虐待、不登校など、取り残された子どもが大勢いる。こうした子ども達をサポートできる社会であってほしい。 新たな情報通信技術をまちづくりに積極的に取り入れてほしい。ただ、小中学生一人ひとりにiPadが配布されたことにより、近視が進んでいるため対策が必要。 新型コロナの影響により、オンライン学習が進んでいるが、副作用も踏まえ、対策に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘いただいた、病気の方、精神疾患の方、声を上げることができない子ども達などが、誰一人取り残されない社会に向けた取組を進めていきたいと思う。 新たな情報通信技術を導入する上で、便利さの一方で、副作用もあることも想定した上で、両面を見据えながら、取組は進めていきたい。

項目	ご意見	市の回答
	<ul style="list-style-type: none"> •車を運転していると自転車の高校生があぶないと感じることが多いので、自転車道を整備できれば良いと思う。 •今後、増々高齢者が増える。病気の予防に向けた取組を進める必要がある。また、高齢者が集まって、1日過ごせる場があれば良いと思う。 •空き家などを利用して、高齢者施設や保育施設を整備できれば、さらに住みやすいまちになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> •今後、高齢者が増えてくることから、病気の予防に向けた取組を空き家対策の取組と合わせて、それぞれの課題を統合的に解決できるように取り組んでいきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> •先日、淡路を訪問した際に、その地域の高齢化率が39%であることを知り、支え合う地域づくりの大切さを感じた。 •ただ、支え合う活動をしているのも高齢者で、民生児童委員のなり手がいないとの意見を聞いている。 •今後、高齢者が増える中、高齢者が高齢者を支えている状況では、破綻しかねない。世代間交流を図り、若い世代の協力を得る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> •行政だけの取組では限界があるので、パートナーシップにより、市民、地域、事業者などと一緒にまちづくりを進めていかなければならない。パートナーシップでまちの好循環を維持・拡大し、持続可能なまちを創っていききたいと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> •明石の人口増は、社会動態の増加によるものである。明石のサービスを受けたくて転入してくる人にシチズンシップを持っていただけるように育成することが重要である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> •実際に介護をすることになり、介護保険制度を利用したが、働きながらサービスを利用することは難しかった。明石市独自の工夫をし、柔軟に対応できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> •市民にとって利用しやすいサービスについて、何ができるか検討していきたい。
経済	<ul style="list-style-type: none"> •明石海峡を見ながら、歩いたり、サイクリングできる浜の散歩道はこのまちにも負けない海岸線だと思う。明石の看板として打ち出せるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> •柱5の展開の方向3「まちの魅力を生かした賑わいの創出」の主な施策に海岸線を活用した取組の推進として、サイクリングロードの整備・活用を記載している。 •今あるものを活用し、新たな施設も整備しながら、良いものにしていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> •明石は気候が良く、子どもからお年寄りまで本当に住みやすいまちである。 	<ul style="list-style-type: none"> •まちづくりの方針として、市内均衡ある発展を掲げているところであり、今後、西明石の開発に向けてJRと協議を進めている。

項目	ご意見	市の回答
	<ul style="list-style-type: none"> • 家の周辺で開発が進んでおり、小学校の適正規模を超えている。 • 市内全域で均衡に開発が進むようにしてほしい。 • 明石市は第一次産業が宝であり、漁業や農業をしっかりと次の世代につないでいくことが重要である。そのためにも、市民が地元の食材を地元で消費するようにしなければならない。 • 明石市はまちの景観がすっきりしていないように思う。全国戻りたいまちランキング1位に選ばれたので、さらにデザイン性でも選ばれるまちになれば良いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> • その他の開発についても、タイミングを見ながら、検討していきたいと考えている。 • 行政だけの取組では限界があるので、パートナーシップにより、市民、地域、事業者などと一緒にまちづくりを進めていかなければならない。パートナーシップでまちの好循環を維持・拡大し、持続可能なまちを創っていきたいと考えている。 • 住みやすさだけでなく、都市のデザイン性も重視し、バランスを考えながらまちづくりを進めていきたい。
行政運営	<ul style="list-style-type: none"> • 明石市は昨年度に県内で初めて「SDG s 未来都市」に選定されており、SDG sに取り組み自治体のトップランナーとして、市民とともに取り組んでほしい。 • 計画の推進に当たり、市民の参画、協働、パートナーシップをどのように支えていくのか見えない。また、充実する方法の記載がない。 • 市民と一緒に担い手となり、まちづくりに関わってほしいと思えるような内容を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年にSDG s 未来都市に選定されたが、コロナの影響でSDG s 未来都市計画に掲げる施策があまり進められていない。現在策定中のあかしSDG s 推進計画がスタートすれば、あわせて推進していきたいと考えている • 総合計画にSDG sを取り入れているところはあまりない。先陣を切ってやっていきたい。
計画全体	<ul style="list-style-type: none"> • 各柱の下にある展開の方向ごとに主な施策が記載されているが、この施策が新規・既存・拡充のどれに当たるのかわからない。何ができていて、これからどのように展開したいかがわかるように施策の状況を記載したほうが良いと思う。 • 主な施策に付随して記載している取組で、レベル感が異なるものがある。市の全体の計画になるので、大きな取組を記載したほうが良い。 	